

農業者インタビュー

学校給食における地場産野菜活用の先駆者！

関谷 悌三さん



関谷悌三さんは農業委員やJAの理事等地域農業へ様々な貢献をしてきた功績から、平成29年度農業功労者感謝状を授与されました。70歳を過ぎてなお、農業への意欲は高く、平成29年12月には子どもたちが今まで以上に安心して給食を食べられるように、東京都エコ農産物認証を取得しました。また、1年を通して農産物を作るために作付や作物の選択を工夫しているそうです。

学校給食といえば関谷さん！

平成21年から始まった学校給食への地場産野菜活用。現在では食育の面からも存在感が増していますが、そのきっかけを作ったのは関谷さん。平成19年に開催された学校給食フォーラムにて、福生市の給食関係者の地場産野菜を使いたいという強い気持ちを知ったそうです。

その1年後、学校のイベント後に関谷さん達の作ったじゃがいもを使ったカレーが振舞われ、大好評だったため、地場産野菜の活用へ進んでいくこととなりました。平成29年9月からは中学校給食もスタートし、今では毎日のように地場産野菜が使われるようになりました。

60歳の定年を機に農業へ力を注ぎ、『農業功労者感謝状をいただける様になったのは、直売所への出荷を誘ってくれた先輩農家のおかげ。今後も自助努力が実感できる仕事は農業であると確信し働き続けたい』と力強くおっしゃっておりました。福生の農業においても高齢化の波が打ち寄せる中、関谷さんのような方がいることはとても頼もしく感じました。これからも福生の農業を支えていただきたいと思います。

～エコ農産物認証とは？～ 化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物を東京都が認証するもの。削減割合により、25%、50%、不使用の3区分で認証します。認証を受けた方は認証農産物に認証マークをつけて販売することができます。

退任農業委員へ感謝状

昨年7月に、農業委員を退任された村野和男さんと笹本和美さんに、福生市から感謝状と記念品が贈られました。村野和男さんは、5期15年、うち会長職を2期6年、笹本和美さんは、5期15年にわたり、福生市の農業振興に貢献されました。長きにわたり、農業委員会活動にご尽力いただきまして、ありがとうございました。



全国農業新聞について

全国農業新聞は、農業委員会系統組織が発行する農業総合専門誌です。

【購読料】1ヶ月 700円

【申込み】担当農業委員もしくは農業委員会事務局へお問合せください

農業者年金のお知らせ

農業者年金は、国民年金に上乘せした公的な年金制度です。

【加入できる人】

- ・国民年金第1号被保険者
 - ・農業に年間60日以上従事する者
- お問合せは、農業委員会事務局へ

農産物共進会 《結果》

第35回 福生市 JAにしたま 農産物共進会 受賞者

賞名	品名	受賞者名	賞名	品名	受賞者名
東京都知事賞	サトイモ	関谷 悌三	東京都農業共済組合長賞	ネギ	村野 和男
西多摩農業協同組合長賞			西多摩地方農業委員会連合会長賞	ニンジン	村野 和男
東京都知事賞	ダイコン	森田 龍幸	福生市農業委員会長賞	サツマイモ	村野 和男
西多摩農業協同組合長賞			東京都農業協同組合中央会長賞	リンゴ	飯塚 俊偉
福生市長賞	ラッカセイ	笹本 昌男	東京都信用農業協同組合連合会長賞	ダイコン	村野 和男
			全国共済農業協同組合連合会東京都本部長賞	ユズ	木下 義彦
東京都産業労働局長賞	パンジー	村野 和男	全国農業協同組合連合会東京都本部長賞	仕込み味噌	野島 サト子
東京都農業改良普及事業協議会長賞			東京都農業信用基金協会会長賞	ヤツガシラ	笹本 昌男
東京都農業振興事務所長賞	ナガイモ	関谷 悌三	山印醸造株式会社社長賞	仕込み味噌	内出 栄子
西多摩農業改良普及事業協議会長賞					



都知事賞

ダイコン

サトイモ



11月12日（日）、西多摩農業協同組合福生支店にて「第35回福生市農産物共進会」が行われ、審査員（東京都農業改良普及センター職員）から「日照不足や台風などの天候不順等による生育の遅れがあり、非常にご苦労があった中、品質も良いものが揃っている」との講評をいただきました。また、こうした状況下でも129点（野菜類74点、果実類21点、加工品11点、雑穀類・花卉・その他23点）の出品がありました。

次回も、たくさんの皆様から出品されることを、当委員会としても期待しています！

学校給食 × 地産地消の取組み

福生市の学校給食では平成21年度から、地場産野菜の使用に取り組んでいます。平成29年9月に、福生市防災食育センターが稼働し、厨房機器が一新されたことで、加熱されたものに限らず、生野菜の提供も可能となりました。



福生産のミニトマトを使用。

福生産の人参を使用。（こんにゃくサラダとかぼちゃの豚汁）

福生市防災食育センターとは

老朽化した第一、第二学校給食センターを廃止し、福生市防災食育センターを稼働しました。防災食育センターは、災害時対応施設として「避難所、備蓄、応急給食の提供」の機能を備えながら、平常時は市内全小中学校10校への学校給食を提供しています。



学校給食では、減農薬の中で育った地場産野菜を、積極的に子ども達に提供していきたいと思っております。

（問合せ）学校給食課給食運営係 042-551-8351